

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスLapoale健軍		
○保護者評価実施期間	2026年2月1日	～	2026年2月4日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25名	(回答者数) 15名
○従業者評価実施期間	2026年1月14日	～	2026年2月4日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 5日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の専門職が常勤しており、専門的な視点での評価・プログラム立案・支援を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回の支援の中でビジョントレーニングを行い、学習や運動面の土台となる「見る力」を養っている。 ・言語聴覚士の個別活動として、言葉の練習等を行っている。 ・小児リハビリ病院の言語聴覚士から月に2回程度指導を受け、支援の質の向上に取り組んでいる。 ・姿勢の安定性や上肢操作の安定を図るために机や椅子、滑り止めシートなどの環境調整等を行っている。また、直接的な姿勢の調整等も実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジョントレーニングの効果判定を行えるように、評価を実施する。(視知覚検査等) ・言語聴覚士の評価を実施する。 ・外部への研修会参加を増やし、スタッフ全員での共有を強化し支援の質を向上させる。
2	<p><動的枠組み> 多岐にわたる活動：野外活動など多様な活動内容を幅広く展開することで、子どもの「やってみたい！」を多角的に引き出す。</p> <p><静的枠組み> 反復による継続(安心の土台)：同じ活動をルーチン化して繰り返すことで、子どもの「わかる！」を支える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・飽き防止と集中：刺激の種類を変えることで、興味の持続を促しながら子どもたちが意欲的に参加しやすくしている。 ・強みの発見：多彩なプログラムの中で、本人が輝ける分野(得意)を見つける。 ・社会性の育成：ルール遊びやSSTを通じ、実生活に必要なスキルを楽しみながら学ぶ。 ・見通しの確保：「次は何が起こるか」が見えるため、不安が強い子どもも落ち着いて参加できる。 ・自己効力感：繰り返しにより「できた」の実感を積み重ね、自信(自己肯定感)へつなげる。 ・スキルの定着：反復学習によって、学んだことを「知識」から「無意識にできる技術」へと昇華させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・より個人の強みを伸ばしていくために時間を作る。長期休暇等で実際にダンスやサッカー等様々な体験学習に参加し、好きなことや興味のある事を発見するきっかけ作りを行い地域へ参加する機会を増やしていく。
3	児童発達支援・放課後等デイサービス・高齢者リハビリセンターが同じ建物内にあり、様々な年齢層の方との関わりがあります。	<ul style="list-style-type: none"> ・サマーマルシェやクリスマス会といった季節のイベントを合同で開催することで、子どもたちが様々な年齢層の方々と触れ合う、貴重で楽しい機会を創出しています。 ・普段の生活の中でも挨拶を交わすことで笑顔が広がり、世代を超えた温かい交流が自然と生まれています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後はアンケート等を通じて保護者様・お子様のご意見を積極的に伺い、イベント企画に反映させていく。 ・マルシェなどのイベントを通じて、地域住民の方々と積極的に招待し、地域との交流機会を広げていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	共通理解のもとでの評価体制が整っていないこと	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価の実施にあたり、保護者様及び職員への事前説明を行わなかったため、評価内容の理解が十分ではない状況でアンケートにご回答いただく形となってしまった。 ・年間で実際に行っているイベントや行事、訓練等の目的や説明が不十分で理解に繋がっていなかった。 ・活動内容や目的、具体的な支援方法などの説明を丁寧にわかりやすく行うことが不十分であった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後は、評価の目的や項目内容について事前に丁寧な説明を行い、より適切な自己評価に繋げていく。 ・年間スケジュールを作成し、イベントや行事、訓練等の周知を行っていく。 ・計画書の丁寧な説明を行うこと、保護者様やお子様への丁寧な説明を行うこと、保護者様やお子様のニーズをもっと理解できるように相談を強化していくことで、保護者様とお子様ご満足できる支援を行っていく。
2	地域との連携不足	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園や学校、地域の方との交流の機会がなかった。 ・他の放課後等デイサービスとの連携や交流がなかった。 ・マルシェ開催をしたが、地域の人への案内ができていなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度のマルシェでは、ご家族みんなでの参加を促すことや地域の方へのご案内を行いながら、交流の機会を作っていく。 ・地域の放課後等デイサービスとの交流を深めるためにイベントや活動の提案を行っていく。 ・地域の学校への挨拶を行う。 ・現在も交流がある小児リハビリ病院との合同研修会等を検討する。

	公表	保護者等からの事業所評価の集計結果
--	----	-------------------

事業所名	放課後等デイサービスLapoale健軍
------	---------------------

公表日 2026年3月10日

利用児童数 25名 回収数 15名

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13	2	0	0		平日は児童発達支援事業所のスペースも使用できており、スペースは確保されていますが、長期休暇等で少し時間によってはやや狭い空間となっているかと思えます。しかし、近くには公園や図書館などの公共施設があることや、車に乗ってお出かけをする事で、少しでも伸び伸びと過ごせるように工夫を行っています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	14	0	0	1		常勤5名おり、十分な配置となっています。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12	2	0	1		階段があり少し危険ではありますので、手すりや空間を埋める柵をつけております。また、スタッフが見守る事や注意をすることで、子ども達も安心して活動ができています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15	0	0	0		
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15	0	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	15	0	0	0		
	7 こどものことを十分に理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	14	1	0	0		計画書の作成を行うにあたって、事前にお話を伺うことや計画書を作成し、保護者様への説明を行っております。その際には、保護者様のニーズや変更してほしい事などの聞き取りも行ってはいますが、もっと保護者様が伝えやすい環境や雰囲気づくりができるように配慮してまいります。今後も保護者様とお子様とのニーズを尊重しながら対応していきたいと思っております。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13	2	0	0		計画書の説明時には、もっと理解しやすいように説明を行い保護者様と一緒に支援内容の検討が出来るように努めてまいります。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14	0	0	1		当事業所では、同じことを安心して繰り返して行う等の反復的な支援と様々な事にチャレンジをしていけるような支援を行っております。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	9	2	2	2		出仲間ラポアレとの交流のみとなっているため、今後は他事業所との交流や地域の子どもたちと関われる機会作りを目標に取り組んでいきます。
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14	0	1	0		見学や契約時に説明をさせて頂いておりますが、今後はより丁寧に説明をさせて頂きます。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	3	0	2		現在は、保護者様の相談等にお応えしている事が多いため、研修会のご案内やプログラムを作成しながら一緒に進める支援も検討してまいります。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	14	0	1	0		ラインや面談、送迎時などにお話をする機会を設けておりますが不十分な事もあるかと思っておりますので、お時間を作りながら対応させて頂きます。保護者様からも是非ご相談下さい。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12	2	0	1		今後、面談等を増やしていきたいと思っております。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13	2	0	0		保護者様やお子様の気持ちをより受け止めていき支援に繋がれるようにスタッフ一同努めてまいります。何かあればいつでもご相談下さい。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	5	1	3		親子療育、保護者会の開催を検討しています。また、親子療育イベントなどではきょうだい様も一緒に参加してもらい、交流が少しずつ広がれたらと思います。
	19 こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12	3	0	0		子どもさんや保護者様が相談しやすい環境作りを行ってまいります。また、定期的にお声掛けをさせて頂きます。
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13	2	0	0		連絡袋を作っており保護者様への連絡等を行っています。また、ラインでのやりとりを行いながら対応させて頂いております。
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	13	1	0	1		ハグノートでの経過観察報告やインスタグラムでの配信を行っています。また、昨年開所のため自己評価が初めてとなりますが、今後ホームページで公開いたします。
22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13	1	0	1		写真などの掲載では確認を行いながら掲載を行っています。その他の個人情報でも注意を払っておりますが、不十分な点もあると思っておりますので、気になる事などがあればお伝えください。	
非常時 等の 対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10	0	0	5		マニュアル等の説明を行っていませんので、作成したマニュアルを配布していきたいと思っております。
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6	1	0	8		現在年に1回訓練を行っています。子どもさんには水害についてや自信についてのワークも実施しています。
	25 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13	0	0	2		安全計画を今後、保護者様へ周知し、保護者様からの意見等も取り入れながら支援を行ってまいります。
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	14	0	1	0		事故や怪我をした際には状況報告をさせて頂いておりますが、少しふけてしまった等の際にはラインやハグノート、送迎時の報告となっています。今後はすぐにお電話やラインにてお伝えした方が良いでしょう。スタッフへ申し付けて下さい。
満足 度	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	15	0	0	0		
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	12	3	0	0		日々、子ども達が楽しく通えるように環境面や活動内容等をスタッフで考えております。しかし、ゲーム等が無いことやお友達との折り合いにて生き盛りなどがある子どもさんもおられるかと思っております。今後は長期休暇にゲームを取り入れるかの検討を行うことや、楽しく過ごせるような環境作りを継続して行ってまいります。お子様の様子などで気づきがありましたら、スタッフへ教えて頂けると幸いです。
	29 事業所の支援に満足していますか。	14	1	0	0		今後も、子ども達と保護者様のニーズを明確にしながら、支援内容の充実を図っていきたく思いますので、どんな些細な事でもご相談していただくと幸いです。子ども達の成長を保護者様と一緒にサポートしていきたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

公表 事業所における自己評価結果

事業所名 放課後等デイサービスLapolee健軍 公表日 2026年3月10日

Table with 6 columns: 環境・体制整備, 業務改善, 適切な支援の提供, 関係機関や保護者との連携, 保護者への説明等, 非常時等の対応. Rows contain evaluation items, scores (はい/いいえ), and improvement points.